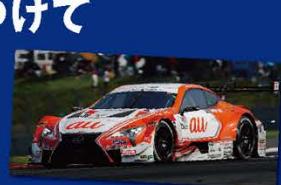




第5戦 富士スピードウェイ 8/4(土)・5(日)

**1位「au TOM'S LC500」、  
2位「KeePer TOM'S LC500」の1.2フィニッシュ  
7ポイント差をつけて  
ランキング1位！**



全車的に4番目のウエイトハンデを課せら  
れている「KeePer TOM'S LC500」1号車で  
あつたが、15台中8台しか予選Q2へ進めない  
中、エースの平川選手がスーパー起步で見事  
Q2進出を果たし、予選Q2ではキャシディー  
選手の懸命なタタクで決勝を7番グ  
リッドからスタートすることとなった。  
決勝がスタート。キャシディー選手はスター  
ト时刻で3位のNSXをアウト側からオーバーテイク！順位を3位に上げる。

2位のNSXに対しホールツーノーズでブ  
レッシャーをかける。冷えたタイヤで抜群  
の速さを見せたが、タイヤが温まり予選での速  
さを取り戻したNSXとの差が徐々に開くもの  
の、離されないように必死で食らい付いて行  
く。14周目に39号車のクラッシュによりセーフ  
ティーカーが導入され、前後の間隔がリセット  
になった。2位のNSXとは差がなかったが、  
4位のNSXとの間に築いたギャップがなく  
なってしまった。

## SUPER GT 2018 REPORT 1号車「KeePer TOM'S」 第7戦で大逆転の今シーズン初優勝！ シリーズランキングトップで、決戦の地もてぎへ！

第5戦の富士スピードウェイでは1位「au TOM'S LC500」、2位「KeePer TOM'S LC500」の1.2フィニッシュと、  
TOM'Sの2台のみ。「KeePer TOM'S LC500」は  
1号車は、今シーズン好調のNSX勢が上位5台  
を占めるなか、4番手に割って入り翌日の決勝を  
スタートすることとなった。

しかし第7戦、予選5番手から大逆転で今シーズン初優勝。シリーズランキングも、14ポイント離されていたNSX100号車と  
同ポイントでトップになり、最終戦にて、2年連続シリーズチャンピオン獲得に挑む。



第3戦 鈴鹿サーキット 5/19(土)・20(日)

**3位表彰台を獲得！  
シリーズランキングもLEXUS勢トップの3位へ浮上**

予選、LEXUS勢でQ2に進出したのは  
TOM'Sの2台のみ。「KeePer TOM'S LC500」  
1号車は、今シーズン好調のNSX勢が上位5台  
を占めるなか、4番手に割って入り翌日の決勝を  
スタートすることとなった。

しかし、第6戦で思ぬアクシデントが発生し、ポイントゲットはならず。  
しかし第7戦、予選5番手から大逆転で今シーズン初優勝。シリーズランキングも、14ポイント離されていたNSX100号車と  
同ポイントでトップになり、最終戦にて、2年連続シリーズチャンピオン獲得に挑む。

決勝、計測システムの不具合によってスタート  
时刻が40分程遅れるという波乱があったものの、  
システムは復旧しスタート進行は順調と進  
めた。スタートドライバーのニック・キャ  
シディー選手がスーパー起步を決め、第1  
コーナーで3位のNSXをアウト側からオーバーテイク！順位を3位に上げる。

2位のNSXに対しホールツーノーズでブ  
レッシャーをかける。冷えたタイヤで抜群  
の速さを見せたが、タイヤが温まり予選での速  
さを取り戻したNSXとの差が徐々に開くもの  
の、離されないように必死で食らい付いて行  
く。14周目に39号車のクラッシュによりセーフ  
ティーカーが導入され、前後の間隔がリセット  
になった。2位のNSXとは差がなかったが、  
4位のNSXとの間に築いたギャップがなく  
なってしまった。

19周目にリスタートとなるが、そこでまたも  
キャシディー選手が抜群のリスタートを見  
せ、第1コーナーで2位のNSX 100号車の  
ジェンソン・バトン選手のイン側に飛び込み  
オーバーテイク！順位を2位に上げざるを得  
ずを行くNSX 8号車を追う。25周目にルーテ  
インのピットイン、エースの平川亮選手へ  
託し、レースを再開。迅速なピットワークで2  
位をキープしたままコースへ復帰するが、先に  
タイヤ交換を済ませていた100号車に後方か  
ら迫られ、アウトラップのスパンカーブで冷  
えたタイヤで必死に防御するも及ばず、順位を  
3位へと落としてしまう。その後、順位を上げ  
ることはできなかつたが、見事今シーズン2回  
目の3位表彰台獲得！シリーズランキングも3  
位へ上げることに成功した。

第6戦 スポーツランド菅生 9/15(土)・16(日)

**無念のクラッシュでポイント獲得ならず**



第7戦 オートポリス 11/20(土)・21(日)

**大逆転で今シーズン初優勝!!**



第4戦 チャン・インターナショナル・サーキット 6/30(土)・7/1(日)

**予選12位から挽回し、  
貴重な3ポイントをゲット**

予選は、通年以上に気温が高く、翌日の  
レースを見越して、固めのタイヤをチョイ  
スしていたが、タイヤ特有の突然のスコール  
によって急激に気温と路面温度が下がり、  
最終的に上位には柔らかめのドライタイ  
ヤをチョイスしたマシンが独占する結果と  
なり、ウエイトハンデと燃料リストリク  
ターのダブルハンディキャップがさらに足  
かせとなつて、「KeePer TOM'S LC500」  
1号車は12番手からの決勝スタートと  
なってしまった。

気温32℃、路面温度47℃の灼熱の中迎  
えた決勝レース。すでに日本では恒例と  
なった地元警察によるパレードラップがないため、1  
周のフォーメーションラップののち、現地時間の午後  
3時に66周先のゴールを目指して決勝がスタートし  
た。

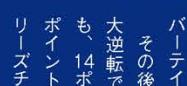
キャシディー選手がスタートのステアリングを握  
り、ポジションをキープしたまま順調にスタート。ス  
タートタイヤは予選で使ったタイヤを使用するレギュ  
レーションとなつていて、固めのタイヤを慎重に  
選んでいたが、見事今シーズン2回  
目の3位表彰台獲得！シリーズランキングも3  
位へ上げることに成功した。

キャシディー選手がスタートのステアリングを握  
り、ポジションをキープしたまま順調にスタートしよう  
としたところ、タイヤ交換が終わる前にエアジャッキ  
を下げてしまつていうミスがありながらも、給油ヒタ  
イヤ交換を終え、ドライバーをエースの平川選手へ交  
代してレースを再開した。ピットでのロスタイルムもあ  
り全マシンがピット作業を終了した時点で11位と順位  
を落としてしまうが、平川選手は諦めずに前のマシン  
を追い続けた。最終的に順位を8位まで上げてレース  
終了。後半の平川選手のペースが良かつただけにピッ  
トでのロスタイルムが悔やまれるが、貴重な3ポイント  
を獲得し、次戦の富士500マイルレースに挑む。



第6戦 スポーツランド菅生 9/15(土)・16(日)

**大逆転で今シーズン初優勝!!**



シリーズランキングも2位の「au  
TOM'S」にアボットをつけてランキン  
ハケ位へと上がり、残り3戦の勝負に  
挑む、目指すはV2！

予選は、通年以上に気温が高く、翌日の  
レースを見越して、固めのタイヤをチョイ  
スしていたが、タイヤ特有の突然のスコール  
によって急激に気温と路面温度が下がり、  
最終的に上位には柔らかめのドライタイ  
ヤをチョイスしたマシンが独占する結果と  
なり、ウエイトハンデと燃料リストリク  
ターのダブルハンディキャップがさらに足  
かせとなつて、「KeePer TOM'S LC500」  
1号車は12番手からの決勝スタートと  
なってしまった。

気温32℃、路面温度47℃の灼熱の中迎  
えた決勝レース。すでに日本では恒例と  
なった地元警察によるパレードラップがないため、1  
周のフォーメーションラップののち、現地時間の午後  
3時に66周先のゴールを目指して決勝がスタートし  
た。

キャシディー選手がスタートのステアリングを握  
り、ポジションをキープしたまま順調にスタートしよう  
としたところ、タイヤ交換が終わる前にエアジャッキ  
を下げてしまつていうミスがありながらも、給油ヒタ  
イヤ交換を終え、ドライバーをエースの平川選手へ交  
代してレースを再開した。ピットでのロスタイルムもあ  
り全マシンがピット作業を終了した時点で11位と順位  
を落としてしまうが、平川選手は諦めずに前のマシン  
を追い続けた。最終的に順位を8位まで上げてレース  
終了。後半の平川選手のペースが良かつただけにピッ  
トでのロスタイルムが悔やまれるが、貴重な3ポイント  
を獲得し、次戦の富士500マイルレースに挑む。